



北海道フェア in 代々木

PR活動を通して感じたこと

PR活動をするうえで印象に残ったのは、かつて安平町に住んでいた方が特産品を通してふるさとを懐かしむ姿です。特に東京の代々木公園で行われた北海道フェアでは当日、台風が直撃して天候が優れない中にも関わらず、わざわざ他県から足を運んでくださる方もいるなど、特にふるさとを懐かしむ姿『安平町への想い』を感じました。

その一方で、課題を感じる場面もありました。

特産品を販売していく中で、「安平町という名前は聞いたことあるけど場所がわからない」「町にどういふものがあるのかピンとこない」という

話をよく耳にしたということでした。

合併し、名前が変わってからまだ9年余りということもあり、中には旧早来町、追分町の名前を出せばわかってくれる方もいましたが、道内近郊の場所でも安平町を知らない方がたくさんいました。

自分一人の力で知名度アップを目指すにも限界があり、とても地道なものとなるかもしれませんが、一人でも多くの方に安平町を知ってもらえるよう試行錯誤しながら様々な方法でPRしていきたいと思えます。

全国の協力隊との出会い、交流

9月、千葉県での地域おこし協力隊初任者研修で、様々な活動をする協力隊の皆さんと出会いました。

初めて他の地域の協力隊と話をすることはとても刺激になり、立場や

活動内容は様々であっても同じ地域おこし協力隊としてこのネットワーキングを生かせないものかと考えるようにもなりました。

その中で隣町の由仁町で活動する協力隊の橋本直樹さん、夕張市の原友梨子さん、高橋沙紀さん、早坂直樹さんの3名と10月に交流研修会を開催し、それぞれの活動の近況報告やワークショップを行い情報を共有、課題などを持ち寄り、活発な意見交換を行いました。

協力隊が担当する業務や活動内容は各市町村によって違うものの、「協力隊同士が連携して市町の枠を超えたアクションを起こしたい」という想いは同じで、11月以降は月1、2回ペースで交流研修会、視察などを行いながら広域での連携したイベント開催に向けて活動をしています。

来年度に向けて

この1年で体験したことを2年目にしっかりと生かせるよう、新しい取り組みにもチャレンジしていきたいです。

特に、私が手がけている「観光Navi」という町の観光のホームページを中心とした情報発信と合わせ、多種多様で幅広い観光情報を町外へ発信していくこと、計画中のイベントを含め、対外的な他の地域との連携を積極的に行っていくことの2点に力を入れたいです。

4月から2年目となりますが、初心を忘れず地域おこし協力隊の大きな魅力のひとつでもある“よそ者の視点”を生かした活動の展開をしていきたいと考えています。



由仁町・夕張市の地域おこし協力隊の皆さんと

▼過去の活動	1月	12月
・安平町物産館運営	・タイ人ツアー来町 雪だるまづくりお手伝い、物販・PR	・ソフトバンク株式会社本社食堂で物販・PR
・観光Navi (ナビ) 情報更新		・札幌テレビ「みるみるみらいデー」物販・PR (札幌・地下歩行空間)
・R234ビューティーサポート		
・安平・夕張・由仁3市町地域おこし協力隊交流研修会		